

19. 晒川 (さらしがわ)

十日町市小寺沢



【晒川下流域の土砂氾濫区域】

【崩壊箇所全景】 尾根部から晒川に達する大規模な崩壊
晒川の河岸で多くの崩壊が発生した



【出水時の状況】
十日町市川原町



【出水後の状況を伝える新聞記事
新潟日報 平成23年7月30日】
十日町市川原町

新潟日報 H23.7.30

【被災状況】〔災害発生日:平成23年7月29日〕

- ・人家45戸浸水
- ・一般県道十日町六日町線埋塞 L=200m
(全面通行止め→7/30解除)
- ・一級河川田川へ土砂流出(河道閉塞なし)
- ・市道橋 1基流出
- ・田畑 0.6ha埋塞

【保全対象】

- ・人家 121戸
- ・一般県道十日町六日町線 L=200m
- ・市道 L=2,000m
- ・体育館 1箇所
- ・公民館 1箇所
- ・耕地 7.78ha

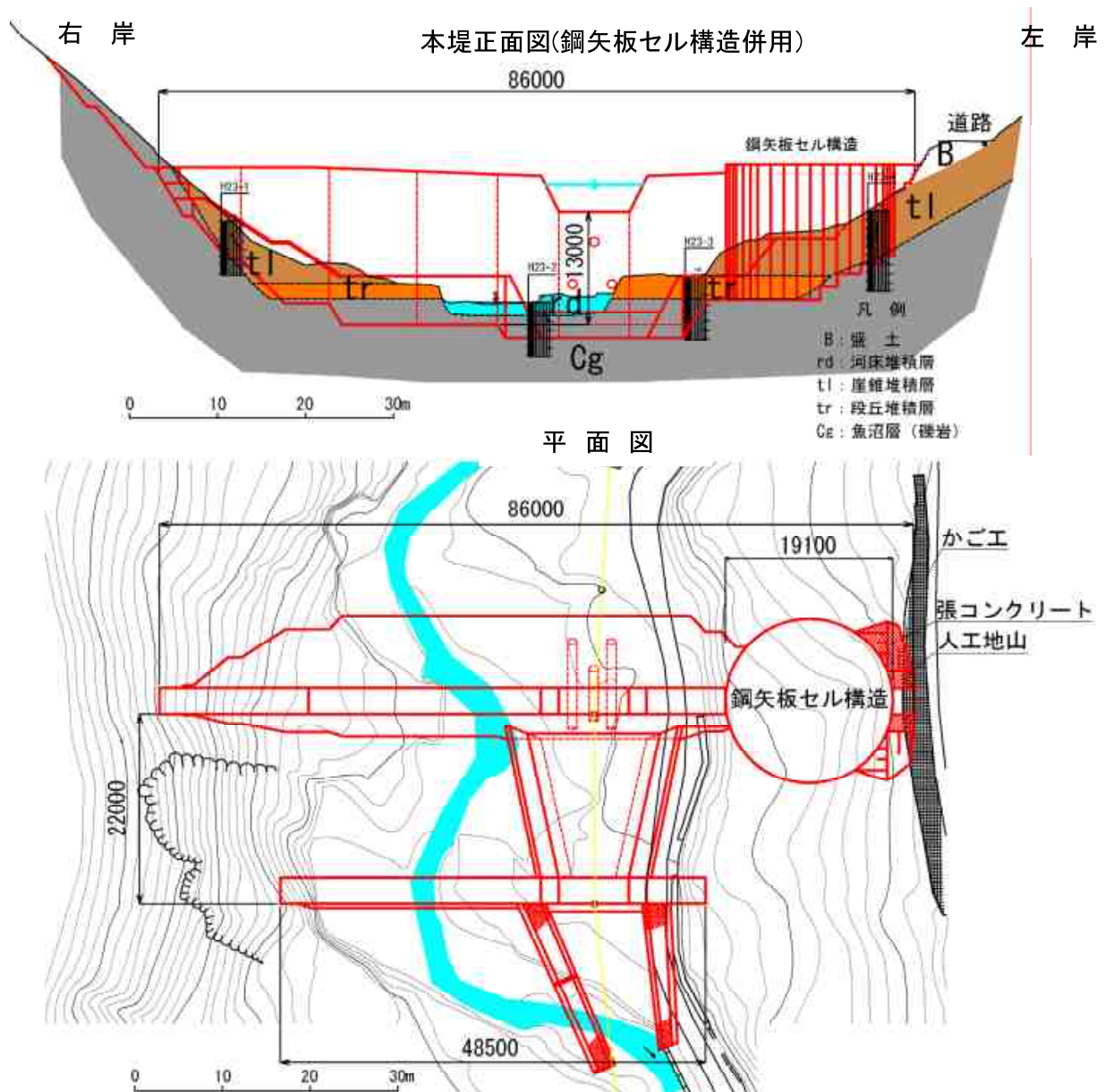
【土石流発生箇所の状況】

晒川に面した斜面を構成する地層は、新第三紀鮮新世～第四紀更新世にかけて堆積した礫岩や砂岩(魚沼層)を主体とし、固結度が低い地層であった。豪雨により晒川の河岸で多くの表層崩壊が発生し晒川に流入した。晒川に流入した土砂は、下流域で氾濫し甚大な被害が発生した。

河床および河岸には現在も不安定な土砂が残存しているため、砂防堰堤により土石流を防止する。左岸側袖部には道路が位置し、袖部の掘削ができないため、左岸側は鋼矢板セル構造で計画した。

【計画概要】

- ・砂防堰堤工(不透過型:重力式コンクリート+セル型式)1基(H=13.0m、L=86.0m)
- ・整備土砂量:79,900m³

砂防堰堤構造一般図

37. 君 帰 (きみがえり) 南魚沼市君帰



【全 景】



【①家屋の1階を埋め、室内に流入している土砂】



【滑落崖の状況】 高さ約7~8m



【①家屋と②家屋の間を埋める土砂】



【④家屋と⑤家屋の間に流入した土砂】

【被災状況】〔平成23年7月30日〕

- ・ 人家6戸被災（この内一部損壊3戸）
- ・ 一般県道欠ノ上五日町線 L=30m

【保全対象】

- ・ 人家7戸
- ・ 一般県道欠ノ上五日町線 L=100m

【崩壊発生箇所の状況】

崩壊が発生した斜面を構成する地層は、新第三紀鮮新世の一村尾層（新潟標準層序：椎谷層相当層）および旧崩積土層である。当該地に分布する一村尾層は、火山砕屑岩を主体とし未固結～半固結の地層である。旧崩積土層は、過去の変状により形成された地層で、斜面には緩い旧崩積土層が層厚6～7.5mで分布していた。崩壊は、豪雨により旧崩積土層で発生した。

斜面には、現在も緩い旧崩積土層が層厚4～7mで残存し崩壊する危険性が高いため、アンカー工と法枠工等で崩壊を防止する。

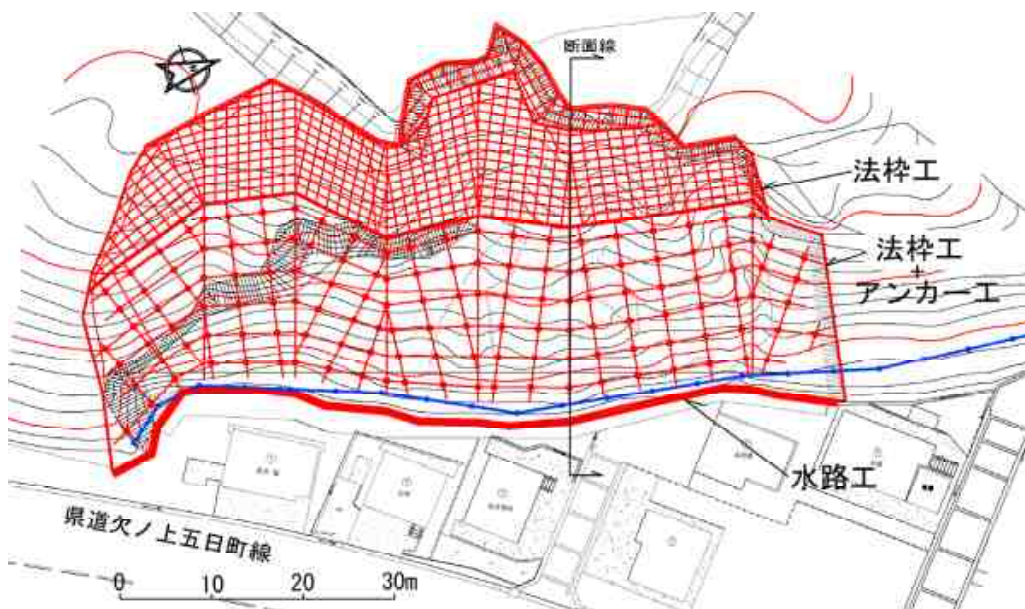
【崩壊規模等】

- ・ 幅80m、高さ20m、斜面勾配35～40°

【計画概要】

- ・ 法枠工+アンカー工、法枠工、水路工

対策工平面図



対策工断面図

